

令和6年5月21日

質 疑 回 答 書

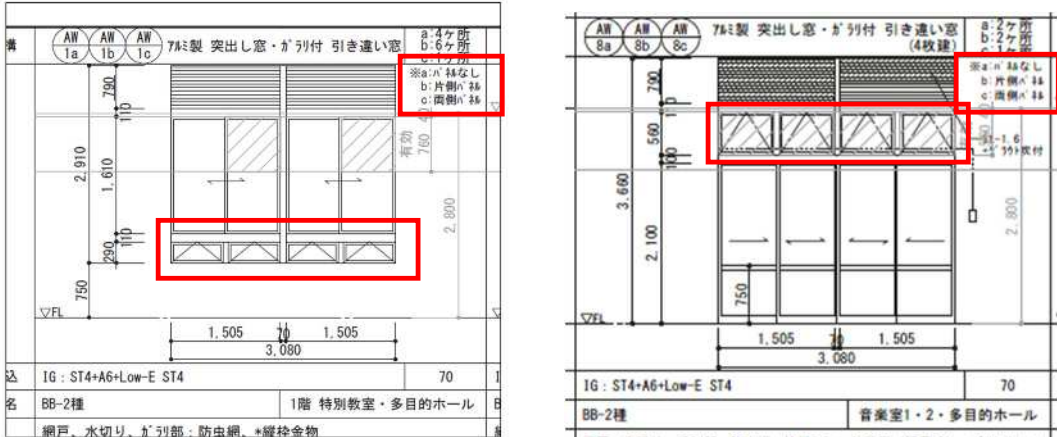
工事名称 令和6年度 中建 第1号 川越中学校建設工事

川越町長 城田 政幸

No.	質 問 事 項	回 答
1	入札用封筒に入れる入札書の他、同封する積算根拠資料につきまして。設計図書その１の内、04_設計書表紙・総括表等中、設計書表紙・設計総括表に積算金額を記入し提出する旨の記載が現場説明書にあります。同ファイル中の新営工事・改修工事の内訳書、条件・金額入力シートの提出は不要で、入札書の他は前述の設計書表紙・設計総括表の２枚を同封すればよろしいでしょうか。ご教示願います。	よろしいです。
2	本工事は、貴町のホームページに公開されている川越町工事請負契約約款の第２６条（賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変更）に記載ある通り、各項の事例が生じた場合、発注者は請負者と協議により決せされると考えてよろしいでしょうか。また、同条第５項にある、「特別な要因」とは具体的にどのような事象を示すのかをご指示願います。	よろしいです。 「特別な要因」を具体的に示すことはできませんが、単品スライド条項が制定された背景や、国等が示している運用方法に基づき対応します。
3	月２回土日完全週休２日制工事（発注者指定型）とは、特記仕様書に記載ある通り、請負者が予め指定した週の土日曜日につき、原則として完全に現場を閉所する、という理解でよろしいでしょうか。また請負者が国及び建設業界が推奨する「建設業の労働時間の上限規制」による４週８閉所（月４回週休２日）工事を採用した場合、川越町工事請負契約約款第２２条（受注者の希望による工期の延長）ないし第２４条（工期の変更方法）に記載ある通り、工期の延伸にかかる設計変更は協議されるものとする、と考えてよろしいでしょうか。ご指示願います。	よろしいです。 また、今回対象としている「月２回土日完全週休２日制工事（発注者指定型）」については、試行要領にもあるとおり、４週８休の普及に向けて、全ての日曜日と予め請負者が指定した月２回の土曜日、指定土曜日以外は任意の２日間を現場閉所日として、４週８休（28.5%）以上を前提とした費用補正を行っています。このことから、本工事は４週８休を前提としており、それによる工期の延長は無いものと考えてください。
4	A262 図中、工事期間９月１日～記載がございます。現在あいあいホール北側駐車場に建設中の仮設校舎への引越しまで８月中に完了し、その後の９/１～工事着手可能という解釈でよろしいでしょうか。	よろしいです。
5	共通仮設積上げ項目に、現場事務所借地代の項目がありますが、工事用地等は施工者の自由 手配によるものとし、有償での町から指定用地によるものではない、と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。

6	工事着手前に、地元住民説明会等開催の予定があれば、ご教示願います。	地元住民説明会の開催を予定しております。 日程等については受注者と協議のうえ決定します。
7	着手前の安全祈願・地鎮祭及び、工事竣工式等実施予定がもしあれば、開催規模（参加人数）やその費用負担について、ご教示願います。	ご質問の式典については、現在のところ予定しておりません。
8	新築における計画通知の許可予定を、ご教示願います。	令和6年4月22日付けで確認済証の交付を受けております。
9	現時点において工事期間中における、金額を伴う近隣住民からの施工形態・地元要望等、もしございましたら、ご教示願います。	現在のところありません。
10	総合定例打合せ等で、現場事務所会議室内では収まらない大人数となった場合は、北側のあいあいホールの諸室等の一時賃借・使用は可能でしょうか。	施設の空き状況等にもよりますが、必要となりましたら、施設管理者と協議いたします。
11	現時点での新校舎供用開始予定日をご教示願います。	令和8年9月1日から開校の予定です。 ただし、7月末日に引渡しを受けましたら、開校までに運営準備のため、建物を使用します。
12	A-053、A-054 階段3にデザインパネル W1020×H2895 2ヶ所の記載がございます。 仕様、メーカーが不明の為、ご指示下さい。	壁石膏ボード+EP-G の上、陶レリーフ（陶器質・施釉仕上）W600 程度 各4個 株式会社陶額堂 同等品 としてください。
13	A155 SD-10及びSD12a～b 使用ガラスが『防音合わせガラス』になっておりますが、建具に遮音性能の指定は有りますでしょうか。 認定上、中桟付框戸等の対応は出来ないため、認定条件を優先し、見積るものと考えますが宜しいでしょうか。ご指示下さい。 尚、その場合、ガラスの種類も変更になります。	遮音性能の指定はありません。図面と同等仕様としてください。

14	A155 A157SD-16a～b, SD-17～18及びSD-31 について、防火設備仕様の建具で、使用ガラスが「耐熱強化ガラス」になっております。 屋外開口部のため、認定品での見積対応は出来ません。 FIX窓を含め、網入り6.8tと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしいです。
15	A156 A155（参考）SD-25及びSD-26について、建具表上段の機構が「鋼製点検扉」になっておりますが、見込みが「57」になっております。 前頁のSD-21～SD-24に準じスチールパーティション点検扉と読み替えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしいです。
16	A156 SD-102及びSD-103（防火・特防）について使用ガラスが「耐熱強化ガラス」になっております。 個別認定上、中棧付の対応は出来ません。標準框戸と読み替えて見積で宜しいでしょうか。ご指示下さい。	認定品として、中棧なしとしてください。
17	A157, A242, A243, A244, A009 SP-1～SP-4について、建具表(A157)は『粉体焼付鋼板』になっておりますが、特記仕様書(A009)及び各種詳細図(A242～A244)は『焼付塗装』仕上げになっております。 標準焼付塗装仕上げとして考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしいです。
18	A158, A159, A009 TB符号について、建具表はメラミン系フェノール樹脂版（積層板）になっておりますが、特記事項は「メラミン樹脂系化粧板（アルミコーナーエッジ付）」が優先事項となっており、また個室便所・職員便所は『アイカ工業：ピュアコアブース』になっております。 どちらを正と考えれば宜しいでしょうか。ご指示下さい。	建具表「メラミン系フェノール樹脂版（積層板）」を正としてください。
19	A157, A093, A127, A129, A237 SSD-2他について、建具表・平面詳細図及び建具詳細図で差異があります。どちらを正と考えれば宜しいでしょうか。ご指示下さい。 SSD-2 DW 1, 337（平詳図 A109, A127） SSD-3 DW 1, 390（平詳図 A093） SSD-4a 及び 4b DW 1, 390（A127, A129）	平面詳細図を正としてください。

24	A151 AW1a、1b、1c AW2a、2b、2c AW3b、3c AW4a、4b AW6a、6b、6c AW8a、8b、8c の建具について、a：パネルなし b：片側パネル c：両側パネル とありますが、上部、下部についた突き出し窓もこの a～c の表記の通りと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。 	上部のガラリ部分についてのパネルの有無を示しています。 パネルの仕様は「st-1.6t 裏面グライツ吹付」としてください。 詳細は図面 A227、A228 をご参照ください。
25	A-164 【C 校内案内サイン】 の MAP:アルミ鋳物 D20 の記載となっておりますが、MAP 部分はどのように表現したら宜しいでしょうか。 例として、グランド（茶色）建物（黒）として、鋳物部分色分け表示と考えて良いでしょうか。 ご指示下さい。	凹凸加工+着色程度としてください。
26	A010 25 ユニット及びその他の工事②ルーバー壁 H1200 アルミ押出型材 ルーバー 23×55@100 と記載がありますが、施工場所が不明です。ご指示下さい。	KY04 通り×KX17～KX20 通りです。図面 A036、A041 をご参照ください。
27	校舎解体工事 管理教室棟（北棟）に「三角杭引抜 L4.0 291 本」、管理教室棟（南棟）に「三角杭引抜 L4.0 92 本」「杭引抜 L6.0 162 本」の計上があります。 今回工事では、新設建物に干渉する、干渉しないに関わらず、数量書記載分の杭をすべて引き抜くものと考えますが宜しいでしょうか。 引抜範囲を限定とする場合は、限定範囲を明示した図面と修正明細書をご提示ください。	既存の杭はすべて引き抜きとしてください。

28	K001 解体施工 ②建築物の解体 「杭撤去跡は山砂等を充填し地盤の安定を維持する」と記載が有ります。今回の新設建物に干渉する範囲として、管理教室棟（北棟）に「三角杭引抜 L4.0 262 本」、管理教室棟（南棟）に「三角杭引抜 L4.0 50 本」「杭引抜 L6.0 66 本」につきましては、新設杭の精度確保の為、流動化土による充填と考えますが宜しいでしょうか。	よろしいです。
29	A-14 既設躯体解体後の地盤高さが不明ですが、どのように考えたら宜しいでしょうか。仮に設計 GL から掘削するものと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	解体後地盤レベル想定は下記のとおりです。 校舎棟：1FL-360 渡り廊下 1：1FL-190 武道場：1FL-150 渡り廊下棟：1FL-170 設備機器架台：1FL-380
30	敷地内に根切土を仮置きする場所を確保することは可能と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。	仮置きは町残土ストックヤードを想定しています。 敷地内に仮置きする場合は、協議とします。
31	現場説明書 建設発生土について、四日市港霞ヶ浦地区北ふ頭へ処分とありますが、運搬費のみで処分費は不要と考えて宜しいでしょうか。処分費が必要ならば M3 当たりの単価を指示お願いします。	処分費は不要です。搬入にあたっては土質調査が必要です。（設計書 No419、参考資料_土砂受入フロー等参照）
32	A266、A267 植栽について、高木仕様 H2.5H3.0H4.5 低木仕様 H0.2 とありますが、高さにばらつきがあり、設計図記載の高さとなりません。【別添 1】リストの高さ程度と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしいです。
33	金抜き設計書 給食調理場 屋根とい工事に計上の勾配屋根 A についてどの範囲を計上されているのか図面より読み取れません。 何処を指し示すものなのか、図面等にてご教示ください。	校舎棟の屋根の一部です。 補助金区分上、面積按分しているため、設計書では給食調理場に含まれています。

34	共通仮設において現場事務所借地代（駐車場含む）25 か月とありますが、川越町として想定している場所、計上する坪単価があればご教示ください。	想定のある場所はありませんが、仮設用借地料が敷地以外に 3 0 0 坪（田んぼ 1 枚）程度必要であるとして、借地料を見込んでいます。川越町の公共工事実施に伴う借地代は 1 月 1 坪 3 0 0 円としております。
35	A262 仮設計画図（参考）の敷鉄板計画では、設備架台までの通路と校舎 PC 工事中のクローラークレーン稼働範囲の敷鉄板が不足しています。増設して計上してよろしいでしょうか。	よろしいです。 仮設計画図は参考図であり、施工者にて判断・計画をしてください。
36	A263 仮設計画図（参考）の 500 t クローラーの耐荷重に現状のグラウンドの地盤が耐えられません。グラウンドの地盤改良を計上してよろしいでしょうか。	質問No.35 と同じ。
37	同上、グラウンドの地盤改良後の土はそのまま表層を戻す復旧でよろしいでしょうか。それとも改良した部分を全て現状復旧でしょうか。	表層の現状復旧でよろしいです。
38	500 t クローラークレーンの解体は、現状の仮囲い内ではできません。一時仮囲いを撤去させていただき、数日間グラウンドを使用させていただく計画により、仮囲い復旧費を計上させていただいてよろしいでしょうか。	質問No.35 と同じ。グラウンドの使用については授業等で使用するため、学校側との協議が必要となります。
39	既存校舎解体後に、新設校舎等の杭打設の施工に際して重機の転倒なきよう、解体地盤の改良が必要になります。改良を計上してよろしいでしょうか。	質問No.35 と同じ。
40	A010 特記仕様書 その 7 ⑦施工調査の家屋調査は、工損調査標準仕様書に準じた調査と記載ありますが、補償コンサルタントに加盟した会社の有資格者での調査と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。

41	A005 特記仕様書 その 2 2. 仮設工事④仮囲い⑤工事表示板のインクジェット印刷シートと完成予想図は、プリントアウトされたものを支給いただき、掲示すると考えてよろしいでしょうか。	④仮囲い⑤完成予想図とも、データの支給のみでシートは本工事に含んでください。
42	設計書の共通仮設費において交通誘導員 568 人 A262 仮設計画図において交通誘導員が北東ゲート 1 箇所のみ配置されています。北西ゲートも常時使用しますので安全対策上必要な人員に修正して計上してもよろしいでしょうか。	質問No.35 と同じ。
43	A262 仮設計画図 北東ゲートに配置する交通誘導員は国道有資格者の誘導員が必要と判断してよろしいでしょうか。	質問No.35 と同じ。 積算上は交通誘導員 B としています。
44	A262 図 山留シートパイル H5. 5m (工事完了後引抜、撤去共) の記載がありますが、H5. 5m では自立が不可能であり、引き抜いたとしても滅失扱いとなります。安全上、有効な長さにて計上してもよろしいでしょうか。	質問No.35 と同じ。
45	A262 図 山留計画の範囲では狭い敷地の中で基礎工事を施工するに当たり、クレーンやトラックの動線範囲の山留が不足しています。計画を見直し、必要な範囲の数量にて計上してもよろしいでしょうか。	質問No.35 と同じ。
46	土工事期間中にウェルポイントにてくみ上げた地下水は、ノッチタンク設置の上、うわ水を北側道路の下水本管へ無償放流としてよろしいでしょうか。	地下水は下水道本管へ放流することはできません。周辺排水路への放流となります。農業用水路になっている可能性もあるので、放流にあたって関係者と協議の必要がありますが、費用はかかりません。
47	E002 特記事項に高圧負荷開閉器は励磁突入電流抑制機能付（変圧器 300KVA 以上）とありますが、E006 受変電設備単線結線図では L B S は全て励磁突入電流抑制機能付ですが単線結線図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

48	E002 特記事項に高圧盤が非常電源専用設備とありますが、E006 受変電設備単線結線図では消防認定品とありますが、L B S が励磁突入対策機能付きの為、消防認定同等品と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
49	E006 受変電設備単線結線図では引込柱の PAS200A ですが、E007 幹線設備系統図・幹線リスト表では引込柱の PAS300A です、300A が正と考えて宜しいでしょうか。	300A としてください。
50	E006 受変電設備単線結線図に変圧器は油入トッランナーとありますが、2026 年の新基準の油入トッランナーの見積もりがまだ出来ないで油入アモルファス仕様で見積りとさせていただきます。	よろしいです。
51	屋外高圧端末は耐塩仕様と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
52	E006 受変電設備単線結線図の充放電システムは別途と考えて宜しいでしょうか。	別途発注工事となります。
53	キュービクル設置時は重機をグラウンドに設置し搬入出来ると考えて宜しいでしょうか。 グラウンドへの重機の進入路の鉄板養生等が必要な場合は建築工事とさせていただきます。	仮囲いの範囲での搬入、設置を検討してください。 グラウンドを使用する場合については協議とします。
54	数量表にはケーブルラックの L 型・T 型等の数量が見あたりませんが、平面図に記載の物があると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
55	E037, E038 の照明姿図に公共品番が無い器具がありますが、メーカー指定や参考品番があれば指示頂けないでしょうか。	参考品番を記入した図面を添付します。【別添 3】

56	E037 照明器具姿図の J10・J20 の器具はステンレス製の為、耐塩塗装は必要ないものと考えてよろしいでしょうか。	耐塩塗装としてください。
57	E040 凡例の調光スイッチが平面図に有りませんが、黒丸に矢印のシンボルを調光スイッチと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
58	E041 に記載の Da28・Da48 は調光兼用器具ですが、平面図の配線の通り今回は調光はなしと考えてよろしいでしょうか。	図面を訂正し、Da28・Da48 の照明器具は調光ありとしてください。調光用配線について受注者と協議のうえ設計変更を行います。
59	E050 弱電設備系統図の構内交換用配管設備で EM-TIEE ケーブル 0.5-2P は EM-BTIEE ケーブルに置き換えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
60	E050 弱電設備系統図の構内交換用配管設備で EM-TKEE0.5-60P は必要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
61	E066～E073AV 設備機器リースとありますが、リース業者の施工範囲を教えてくださいませんか、また機器調整を電気工事で実施の場合は機器メーカー及びリース業者を教えてくださいませんか。	図面の「機器リース」は誤記のため削除します。 機器、取付とも本工事（電気工事）としてください。設計書上も購入で見込んでおります。
62	冷媒種別変更対応工事についての質疑。 金抜き設計書に「冷媒種別変更対応工事」がありますが、これは R410A から新冷媒 R32 への変更に係る冷媒ガス漏洩に対する安全対策の工事と判断してよろしいでしょうか。	よろしいです。
63	上記の冷媒種別変更対応工事についての質疑が正の場合、各メーカー新冷媒機器の価格公表前のため、入札時には冷媒変更前の機器でしか積算することができません。機器については冷媒変更前の機器で積算し、変更に伴う増減は別途協議と判断してよろしいでしょうか。	よろしいです。

64	上記の冷媒種別変更対応工事についての質疑が正の場合、工事が必要な部屋について詳細が不明のため、想定している部屋がありましたらご教示頂きたくよろしくお願い致します。	R32 機器の冷媒充填量が現時点で不明のため、各数量を参考としてください。
65	上記の冷媒種別変更対応工事についての質疑が正の場合、新冷媒への冷媒ガス漏洩対策の工事は手段がいくつかあるため積算方法を判断しかねています。想定している工事方法等ありましたらご教示頂きたくよろしくお願い致します。	遮断装置及び検知警報設備を必要室系統に設けること。
67	設計書No.7 他、仮置土のストックヤードが決まっておれば、差し支えなければ当該住所等ご教示いただけないでしょうか。施工時期等により、ヤード変更（運搬距離変更）の場合は、変更・協議対象として考えてよろしいか、ご指示願います。	ストックヤードの位置は【別添2】のとおりです。ヤードが変更となった場合は変更協議対象とします。
68	設計書No.11 他、既成杭施工時の発生土産廃処分量ですが、発生土量m ³ →t 重量換算については比重×1.6 相当と認識しており、計上重量として少ないのではと思われます。最終発生土量にて変更・協議対象として考えてよろしいか、ご指示願います。	設計上、比重は汚泥として 1.1 t /m ³ にて換算しています。 必要処分量は適宜お見込みください。
69	設計書No.24、S120 図中記載、頭付きスタットの内容に、工場の記載がありますが、現場打ちスタット施工ではなく、工場施工が必須条件でしょうか。ご指示願います。	工場施工は必須ではありません。現場打ちとしても問題ありません。
70	設計書No.312、アルミルーバー H1200 9.8mについて、仕様・参考品番等不明です。ご指示願います。	四国化成「ALF1 型」同等品としてください。 A010 特記仕様書その 7 25. ユニット及びその他の工事 ー④ルーバー壁に示す内容です。
71	設計書No.323、A269 ST1 階段 1、ST2 階段 2 にタイル（役物）の記載がありますが、設計書No.46 タイル工事（外部）記載が該当項目と考えてよろしいでしょうか。ご指示願います。	ST1、ST2 階段のタイルは、設計書 No323 に含んで計上してください。

72	A151 建具表中 AW-1, 2, 3, 4, 6, 8, 9 に、a:パネルなし、b:片側パネル、c:両側パネルの記載がありますが、パネル有無該当部分・範囲の詳細について追記若しくは明示等、ご指示願います。	上部のガラリ部分についてのパネルの有無を示しています。 パネルの仕様は「st-1.6t 裏面グライト吹付」としてください。 詳細は図面 A227、A228 をご参照ください。
73	A155 建具表中 SD-10, 12、防音合わせガラス t8 防音合わせ型ガラス t6 の記載がありますが、設計書No.105 では、防音合わせガラス t8 (片面型板ガラス) との記載計上です。A155 図より、FL2+F4 の防音合わせ型ガラス t6 と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
74	A227, 228, 231 図アルミ建具詳細図及びカーテンウォール詳細図に、遮音性能 T-2 記載がありますが、建具表記載のガラス遮音性能は T-1 相当と見受けられます。ガラス厚は建具表記載通りで可と考えればよろしいでしょうか。	よろしいです。
75	建具表中の複層 Low-E 強化ガラスにつきまして。現建具寸法上でも、Low-E 強化ガラスの最小製作寸法以下となる部分が見受けられます。製作不可部分については、通常の Low-E ガラス対応と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
76	設計書No.46、昇降口巾木タイル 3.2m ² 、玄関ホール巾木 7.7m ² 、巾木 26.4m ² 計上ですが、数量そのまま各々mと読み替えてよろしいか、若しくは H=100 より各々32m、77m、264m相当でしょうか。ご指示願います。	数量はそのまま単位をm ² →mに読み替えてください。 (巾木高さは H100)
77	設計書No.124、フリーアクセスフロア数量につきまして。A019・020 仕上表の設置室からしますと、設計数量では、ビニル床タイル面(職員室・印刷コーナー、印刷室、PC 閲覧室の計)は多く、タイルカーペット面(メディアセンター 1・司書コーナー、職員ラウンジ、メディアセンター 2・3 の計)は少ない、全体数量では≒100m ² 程は少ないように見受けられます。実際の設置室・数量に伴う、変更対象扱いと考えてよろしいでしょうか。ご指示願います。	積算上メディアセンター 2、3 が RC+セルフベリングとしての計上になっておりますが、実際はフリーアクセスフロアが必要となります。 受注者と協議のうえ設計変更を行います。

78	K006 図記載、1 階東昇降口と 3 階倉庫床に、長尺シート+接着剤のアスベストみなし 記載があります。接着剤のアスベスト見込みについては、東昇降口と倉庫のみとし、他は長尺シート等基材のみを見込むものと考えてよろしいでしょうか。ご指示願います。	長尺シート系はすべて接着剤も含めてみなし含有と考えてください。もしくは調査の上、適切に処理してください。 K006 図以外の建物についても同様としてください。
79	設計書No.370～解体工事の項目中、電気設備工事照明器具等及び機械設備工事衛生器具・配管等、既存設備撤去・処分の内訳計上がございます。電気・機械設備図工事区分及び設計書上も、既存撤去は含まれておらず、本工事別途（変更協議対象）扱いと考えてよろしいでしょうか。本工事計上の場合は、相当の別紙内訳明細（数量）お示し願います。	解体建物一式の解体を本工事とし、電気・機械設備の解体も本工事に含むものとして計上してください。
80	設計書No.401、アスベスト含有のパッキン・保温材の処分費が一式での計上となっていますが、別紙内訳明細（数量）の明示をお願いいたします。	隠ぺい部が多く、内訳明細を明示することができません。 調査の上、適切に処理をしていただくこととなりますが、積算上では想定で約 80 万円見込んでいます。大幅に増減する場合は精算を行います。
81	E038 図中、誘導灯ユ 1、ユ 2 共、C 級となっていますが、同じく記載してある公共施設型番では、B 級型番記載となっております。正誤についてご指示願います。	公共施設型番の間違いです。C 級としてください。
82	設計書No.39、照明器具 A46×275 台、A46 c ×68 台との記載ですが、図面上からしますと、A46×279 台、A46 c ×64 台の様です。設計書上で 4 台分を A46 c →A46 と読み替えてよろしいでしょうか。	よろしいです。

記号	名 称	品 質・寸 法	数 量	単位	見積高さ
	外構 その他 校舎棟				
	GCP2F ヤツデ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.2～0.3
	GCP2F カナメチ	H0.2m 5本/m ²	1.00	本	H0.2～0.3
	GCP2F シキミ	H0.2m 5本/m ²	1.00	本	H0.3～H0.4
	GCP2F マサキ	H0.2m 5本/m ²	1.00	本	H0.3～H0.4
	GCP2F チャノキ	H0.2m 9本/m ²	2.00	本	H0.3～H0.4
	GCP2F ヒサカキ	H0.2m 9本/m ²	15.00	本	H0.3～H0.4
	GCP2F シャリンハイ	H0.2m 5本/m ²	1.00	本	H0.3～H0.4
	GCP2F サカキ	H0.2m 5本/m ²	1.00	本	H0.3～H0.4
	GCP2F トベラ	H0.2m 5本/m ²	10.00	本	H0.3
	GCP2F アセビ	H0.2m 5本/m ²	1.00	本	H0.3
	GCP2F ユキヤナギ	H0.2m 9本/m ²	15.00	本	H0.3
	GCP2F モチツツジ	H0.2m 5本/m ²	10.00	本	H0.3～H0.4
	GCP2F コデマリ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3
	GCP2F コハノカマスミ	H0.2m 5本/m ²	1.00	本	H0.3
	GCP2F カマスミ	H0.2m 5本/m ²	1.00	本	H0.3～H0.4
	GCP2F ヒュウカミスギ	H0.2m 5本/m ²	1.00	本	H0.3
	GCP2F ヤマブキ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3
	GCP2F ムラサキシキブ	H0.2m 5本/m ²	2.00	本	H0.3
	GCP2F ミツマタ	H0.2m 5本/m ²	2.00	本	H0.3～H0.4

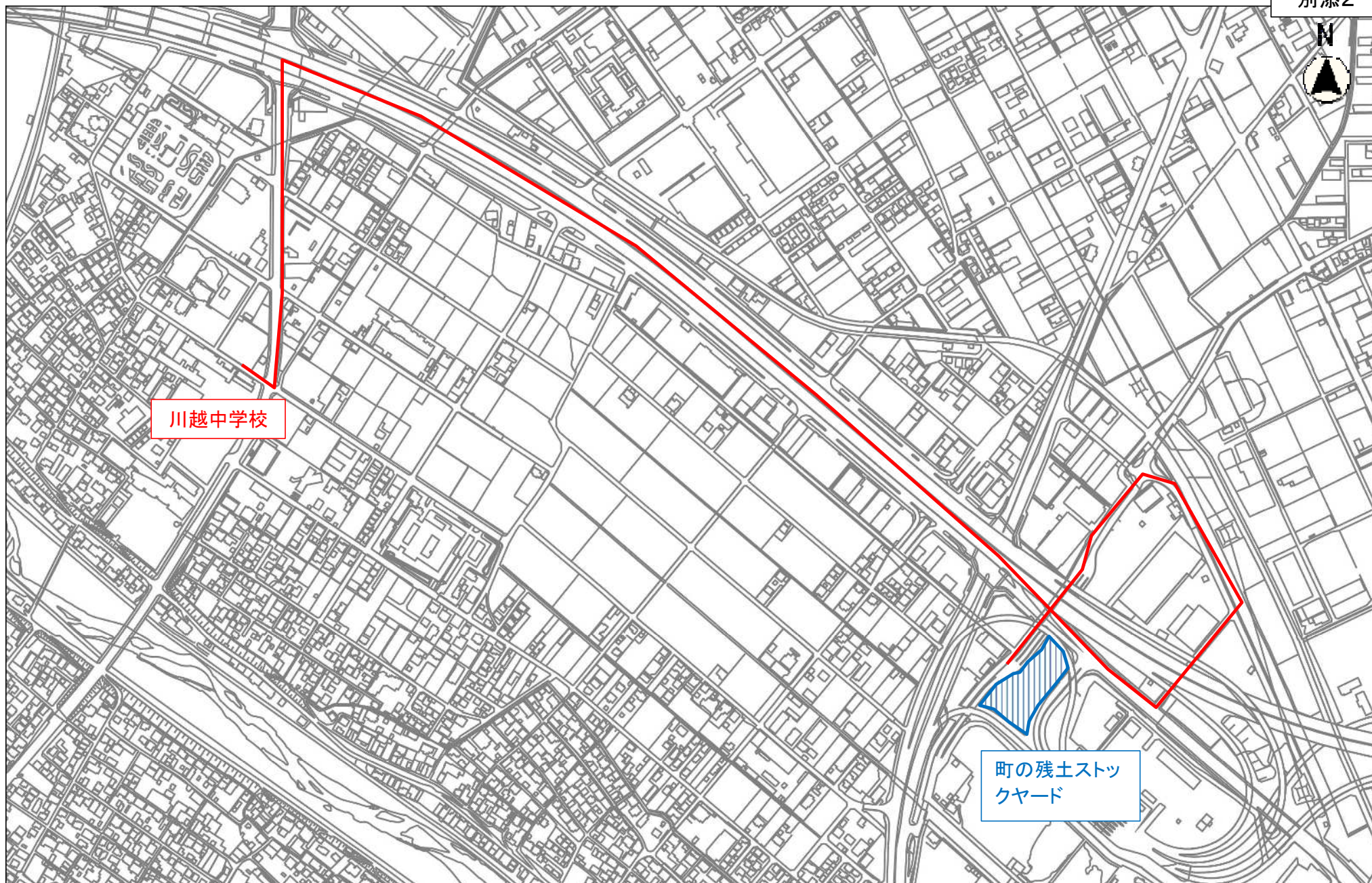
	T3 ヤマツツシ [〃]	H2. 5m 株立	1. 00	本	H2.0～H2.5
	GCP3F ヤツデ [〃]	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.2～0.3
	GCP3F カナメチ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.2～0.3
	GCP3F シキミ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3～H0.4
	GCP3F マサキ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3～H0.4
	GCP3F チャノキ	H0. 2m 9本/㎡	10. 00	本	H0.3～H0.4
	GCP3F ヒサカキ	H0. 2m 9本/㎡	50. 00	本	H0.3～H0.4
	GCP3F シャリンハイ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3
	GCP3F サカキ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3～H0.4
	GCP3F トヘラ	H0. 2m 5本/㎡	15. 00	本	H0.3～H0.4
	GCP3F アセビ [〃]	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3～H0.4
	GCP3F クロモン [〃]	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3～H0.5
	GCP3F ユキヤナギ [〃]	H0. 2m 9本/㎡	50. 00	本	H0.3
	GCP3F モチツツシ [〃]	H0. 2m 5本/㎡	30. 00	本	H0.3～H0.4
	GCP3F ミツハツツシ [〃]	H0. 2m 5本/㎡	10. 00	本	H0.3～H0.4
	GCP3F サワフタギ [〃]	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3～H1.0
	GCP3F コデマリ	H0. 2m 5本/㎡	30. 00	本	H0.3
	GCP3F マンサク	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3～H1.0
	GCP3F カマツカ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3～H1.0
	GCP3F イヌビロ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3～H1.0

GCP3F コハノカマスミ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3
GCP3F カマスミ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3～H0.4
GCP3F ヒュウカミスキ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3
GCP3F ヤマブキ	H0.2m 5本/m ²	15.00	本	H0.3
GCP3F ムラサキシキブ	H0.2m 5本/m ²	10.00	本	H0.3
GCP3F シンチョウケ	H0.2m 9本/m ²	20.00	本	H0.3
GCP3F スノキ	H0.2m 9本/m ²	10.00	本	H0.3
GCP3F ミツマタ	H0.2m 5本/m ²	10.00	本	H0.3～H0.4
高木17 ミツハツツシ	H2.5m 株立	1.00	本	H2.0～2.5
高木18 シャクナゲ	H2.5m 株立	1.00	本	H2.0～2.5
高木21 ネギ	H2.5m 株立	1.00	本	H2.0～2.5
高木23 クロモン	H4.5m 株立	1.00	本	H3.0～4.5
高木25 カクレミノ	H4.5m 株立	1.00	本	H3.0～4.5
GCP-B ヤツデ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.2～0.3
GCP-B カナメチ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.2～0.3
GCP-B シキミ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3～0.4
GCP-B マサキ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3～0.4
GCP-B チャノキ	H0.2m 9本/m ²	10.00	本	H0.3～0.4
GCP-B ヒサカキ	H0.2m 9本/m ²	20.00	本	H0.3～0.4

GCP-B シャリンハ ^イ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3
GCP-B サカキ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3~0.4
GCP-B トヘ ^ラ	H0.2m 5本/m ²	10.00	本	H0.3
GCP-B アセビ ^ヅ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3
GCP-B クロモシ ^ヅ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3~0.5
GCP-B ユキヤナギ ^ヅ	H0.2m 9本/m ²	30.00	本	H0.3
GCP-B モチツツシ ^ヅ	H0.2m 5本/m ²	15.00	本	H0.3~0.4
GCP-B ミツハ ^{ツツシ}	H0.2m 5本/m ²	15.00	本	H0.3~0.4
GCP-B サワフタギ ^ヅ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3~1.0
GCP-B コテ ^{マリ}	H0.2m 5本/m ²	15.00	本	H0.3
GCP-B マンサク	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3~1.0
GCP-B カマツカ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3~1.0
GCP-B イヌビ ^ワ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3~1.0
GCP-B コハ ^{ノカマス}	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3
GCP-B カ ^{マス}	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3~0.4
GCP-B ヒュウカ ^{ミス}	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3
GCP-B ヤマブ ^キ	H0.2m 5本/m ²	15.00	本	H0.3
GCP-B ムラサキシキブ ^ヅ	H0.2m 5本/m ²	10.00	本	H0.3
GCP-B ヤマアジ ^{サイ}	H0.2m 9本/m ²	15.00	本	H0.3
GCP-B シンチョウケ ^ヅ	H0.2m 9本/m ²	15.00	本	H0.3
GCP-B スノキ	H0.2m 9本/m ²	10.00	本	H0.3

	GCP-B ミツマタ	H0. 2m 5本/㎡	10. 00	本	H0.3～0.4
	GCP-C ヒサカキ	H0. 2m 9本/㎡	70. 00	本	H0.3～0.4
	GCP-D ヤツデ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3～0.4
	GCP-D マサキ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3～0.4
	GCP-D チャノキ	H0. 2m 9本/㎡	5. 00	本	H0.3～0.4
	GCP-D ヒサカキ	H0. 2m 9本/㎡	40. 00	本	H0.3～0.4
	GCP-D シャリンハイ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3
	GCP-D トヘラ	H0. 2m 5本/㎡	15. 00	本	H0.3
	GCP-D アセビ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3
	GCP-D ユキヤナギ	H0. 2m 9本/㎡	40. 00	本	H0.3
	GCP-D モチツツジ	H0. 2m 5本/㎡	25. 00	本	H0.3～0.4
	GCP-D ミツハツツジ	H0. 2m 5本/㎡	15. 00	本	H0.3～0.4
	GCP-D コデマリ	H0. 2m 5本/㎡	25. 00	本	H0.3
	GCP-D コハノカマスミ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3
	GCP-D カマスミ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3～0.4
	GCP-D ヒュウカミスギ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3
	GCP-D ヤマブキ	H0. 2m 5本/㎡	15. 00	本	H0.3
	GCP-D ムラサキシキブ	H0. 2m 5本/㎡	5. 00	本	H0.3
	GCP-D ヤマアジサイ	H0. 2m 9本/㎡	20. 00	本	H0.3
	GCP-D シンチョウケ	H0. 2m 9本/㎡	10. 00	本	H0.3

	GCP-D ミツマタ	H0.2m 5本/m ²	5.00	本	H0.3~0.4
	GCP-E トベラ	H0.2m 5本/m ²	6.00	本	H0.3
	GCP-E ヒサカキ	H0.2m 9本/m ²	10.00	本	H0.3~0.4
	GCP-E カンツハキ	H0.2m 9本/m ²	2.00	本	H0.3~0.5
	GCP-E アキグミ	H0.2m 5本/m ²	1.00	本	H0.3~0.4
	GCP-E コムラサキシキブ	H0.2m 5本/m ²	2.00	本	H0.3



縮尺 1 : 7000



[illegible]

		設計番号 2020533	作成日 2024. 03.	種別/備考 *****		工事名称 川越中学校建設工事	図面番号
	株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	一級建築士 No.273069	一級建築士 No.345792 構造設計一級建築士 No.9786	一級建築士 No.252480 設備設計一級建築士 No.1028	担 当 一級建築士 No.343695 久保 久志	図面名称 照明器具図 (2) 縮尺 A1: NS A3: NS	E038
		高木 耕一	中牟田 昌慶	石田 正之			